

「第五回外国人留學生のための就職ガイダンス&ジョブフェア」開催

外国人留學生支援事業  
**第五回外国人留學生のための就職ガイダンス&ジョブフェア**  
 留学生必見！  
**5月23日(水)**  
**10:30~17:00 入場無料**  
**京都市勧業館 みやこめっせ**  
 会場 地下1階 第一展示場・大会議室  
 京都市左京区岡崎成務寺町9番地1

**対象** 就職を希望する外国人留學生

**定員** 280名(先着順)

**申込先** 所属大学(申込期間:5/1~5/17)

**申込方法** ① 日本での実務的な就職活動の進め方  
 ② 実務的就職対策講座  
 ③ 外国人留學生登録講座  
 ④ ビザ(在留資格)の諸手続き

**ジョブフェア** 地下指席券券額 13,000~  
 ・留學生を募集する企業の説明会  
 ・対象:2008年3月卒業見込みの留學生  
 ・出張海外人材ジョブフェア(京都府など)に参加している企業

**主催** 京都地域留學生交流推進協議会 滋賀県留學生交流推進協議会 独立行政法人日本学生支援機構  
**後援** 京都市 滋賀県 京都市 京都経営者協会 関西広域連携協議会

本機構近畿支部京都事務所では、京都地域留學生交流推進協議会及び滋賀県留學生交流推進協議会と共催で、「第五回外国人留學生のための就職ガイダンス&ジョブフェア」(京都市、滋賀県ほか後援)を五月二十三日(水)に京都市勧業館(みやこめっせ)において開催しました。

午後は、外国人留學生の採用を希望する主に関西を拠点とした企業一七社が特設ブースを出展し、参加者から熱心な質問や自己アピールが行われました。

今回は新たに、「KYOの海外人材活用推進協議会」による海外人材ジョブカフェの出張ブースも設けられ、就職に関するミニ相談会も実施されました。

この事業は今回で五回目を迎え、日本国内での就職を希望する外国人留學生にとって貴重な機会の提供及び就職活動の実践の手引きとして定着してきており、近畿支部では、今後もうこうした事業を通じて引き続き外国人留學生の支援を行っていくことにしています。



ジョブフェア会場

【近畿支部京都事務所URL】  
[http://www.jasso.go.jp/s\\_kyoto/index.html](http://www.jasso.go.jp/s_kyoto/index.html)

当日は二〇〇名を超える外国人留學生の参加があり、午前中は就職ガイダンスとして、日本企業に就職した元外国人留學生の就職活動経験談、大阪外国人雇用サービスセンター外国人労働者専門官による日本での具体的な就職活動の進め方や、京都府行政書士会国際法務委員会委員長による就労資格取得の仕方等の実践講座が行われました。特に在留資格の諸手続きについての講演では、「就労」の在留資格に変更する際の留意点等について詳しい説明があり、参加者はメモを取りながら受講していました。



就職ガイダンスでの講演「外国人留學生経験談」



就職ガイダンスでの講演「在留資格の諸手続き」

大分国際交流会館周辺清掃の取組

本機構九州支部大分事務所です。「四月からは毎月周辺掃除をやる！」と宣言した私(所長)に、職員も会館のRA(会館在住の日本人留學生で留學生の生活アシスタント)も「えっ！毎月ですか・・・」と怪訝・不満・不安の表情でした。そもそもこのことを私に決心させた理由は二つあるのです。

一つは地域の小中学校や養護学校に留學生が出向いて自国の紹介をする「国際理解講座」が二月に終了し、その反省会の席上で、学校の先生から「留學生たちがせっかく良いことをしているのに、その地域貢献が知られていない」と指摘されたこと。もう一つは当館を退館していく留學生たちに、「会館は色んな面で快適だったが、館生同士が知り合う機会が意外に少なかった」と指摘されたことです。

館生たちは毎年春・秋にはウェルカムパーティー、冬には会館祭を開催しています。他にも小さな行事があり、これらが交流の機会になっていっていると思っていたのですが、案外、実行委員だけが張り切っているという図式になっていたのかも知れません。会館を去っていく留學生たちの中には、大人数のパーティーよりも、もっと日常的な形で多くの館生と知り合うチャンスが欲しかった人もいたということです。



後方の建物は大分国際交流会館

そこで、簡単で費用もかからず地域貢献と館生の交流も促進することができる「会館周辺清掃」を思いつきました。会館に隣接するスパビーチは多くの観光客が訪れる美しい砂浜なのですが、難点は潮流の関係で漂流物が多いことです。一番近い住民である館生がここを掃除することは当然といえば当然です。一応、居室の二フロアーを当番として割り当てましたが実際には、参加は自由です。

二回目の五月二〇日、一四名の館生たちは初夏の陽射しの中、「地域貢献」や「館生交流」などということを全く意識

せず、楽しくゴミを拾い集めていました。回を重ねるごとに館生たちに活動の楽しさが知られて行き、これからも参加者は増えていくと思っています。



清掃活動に参加した館生